



守るよ交通ルール

村内の小中学校と普代児童館では、春の交通安全運動の一環として、交通安全教室を開催しました。鳥茂渡小学校（荒谷栄子校長、児童10人）でも4月13日、1・2年生は「横断歩道のある道路の横

断の仕方」、4年生以上は「自転車の正しい乗り方」を学習しました（写真）。

村駐在所の菊池孝則所長や村交通指導員らの指導のもと、「道路を渡るときは、安全確認は必ずしてください」と菊池所長が話すと、児童らは「はい」と元気よく返事をしていました。



活気づくコンブ漁

元気で帰ってきて

黒崎小学校（佐々木一夫校長、児童14人）では4月28日、普代川河口にサケの稚魚を放流しました。自分たちの手で採卵、授精、ふ化させた約300匹と村漁協からいただいた約5,000匹に「元気で帰ってきてね」と声を掛け、大海を目指す稚魚を見送っていました（写真）。

鮭供養塔前に集合した児童たちは、佐々木校長や沼田英雄教育長の話を聞いた後、5センチほどに大きくなった稚魚を、小さなバケツに入れてもらい、名残惜しそうに普代川に放流していました。



今年の養殖コンブ漁は四月下旬から始まり、合砂繁雄さんの作業場（緑区）では家族総出で、スキコンブの出荷作業に追われていました（写真）。

午前二時ごろ出港した船は、収穫したコンブを船満杯に積んで帰ってきます。採れたてのコンブは作業場に運ばれ、すぐさま熱湯で煮上げ、真水で素早く冷やされて手際よく広げ、機械で細かくきざまれます。その後手作業でスキコンブが仕上げられます。

五月下旬には、長切りコンブも始まり、コンブ漁は最盛期を迎えます。